

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	庶務課 課	施設係 係	事務事業No.	801111
事務事業名	職員宿舎整備事業			会計	病院事業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項 目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成 25 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

**事業の概要**  
 病院事業においては、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保が事業の存続における最重要課題となっている。奨学金の貸与などにより、新卒者がある程度確保できる見通しはあるが、さらに定着を図るには、大町市内で生活するように誘導していくことが重要であり、近い年代の同僚が住む集合住宅を建築することにより大きな効果が見込まれる。

**事業の目的**  
 医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保・定着、大町市定住を図るため職員宿舎の建設を行う。

**事業内容**  
 職員宿舎 RC造2階建 1K10戸 建築面積252.89㎡ 延面積373.62㎡  
 用地取得、設計管理

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	100,131 千円	46,200 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	34,000 千円	46,200 千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	66,131 千円	千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果  
 （指標 研究医・実習生の確保）研究医、実習生を確保するうえで住居の提供が必要となる。民間アパートの賃借の減を図る。（建設中）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	低い	普通	一部重複	普通	改善の余地あり	
点数	3	1	2	2	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	研究医等の入居者のほか、県外（市外）からの医療スタッフの確保を図るため、効率的な運用が必要				
	評価点合計	12	18				

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	庶務課 課	施設係 係	事務事業No.	801112
事務事業名	災害時被災者収容施所兼講堂建設事業			会計	病院事業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項 目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成 25 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

**事業の概要**  
 病院事業においては、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保が事業の存続における最重要課題となっている。奨学金の貸与などにより、新卒者をある程度確保できる見通しはあるが、さらに定着を図るには、大町市内で生活するように誘導していくことが重要であり、近い年代の同僚が住む集合住宅を建築することにより大きな効果が見込まれる。

**事業の目的**  
 災害拠点病院としての機能向上。  
 がん診療の充実のための内視鏡室拡充  
 健診センターの機能向上と、受診者の利便性向上

**事業内容**  
 S造2階建 建築面積 建築面積82.288㎡ 延面積1,661.62㎡

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	26,978 千円	226,222 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	20,000 千円	226,200 千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	6,978 千円	22 千円

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	建設施設			50%	100%	50.0%	100%
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					-	-	-
②					-	-	-
③					-	-	-
2. 数値で表せない効果							
(指標 ) 建設中							

**※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等**  
 被災者収容施設は、大北地域の災害拠点病院として被災者の治療・振分搬送・DMAT拠点の役割を果たすため、また、レストラン整備は来院者等のアメニティー向上のために施設整備が必要。内視鏡検査・健診事業の拡充は地域住民に必要な施策であるとともに経営改善面で有効な施設整備。施設整備後、新しい施設の利便性を住民に周知し、利用者の拡大を図ることが課題。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	高い	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続					
	評価点合計	15	施設の有効利用を図る必要があるとともに、既存施設の移動後の有効に活用する				
		18					

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	経営企画室 課	経理	係	事務事業No.	801114
事務事業名	医療機器整備事業				会計	病院事業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち				款	項 目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進					
後期計画掲載頁	72	頁	個別計画			頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等		

**事業の概要**  
 病院事業においては、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保が事業の存続における最重要課題となっている。奨学金の貸与などにより、新卒者をある程度確保できる見通しはあるが、さらに定着を図るには、大町市内で生活するように誘導していくことが重要であり、近い年代の同僚が住む集合住宅を建築することにより大きな効果が見込まれる。

**事業の目的**  
 高度医療器械の更新をはじめ、必要な医療器械の計画的な整備を図る。

**事業内容**

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	545,097 千円	162,939 千円	457,971 千円
	国庫支出金	42,625 千円	2,625 千円	千円
	県支出金	104,674 千円	26,537 千円	138,844 千円
	起債	378,800 千円	92,300 千円	318,000 千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	18,998 千円	41,477 千円	1,127 千円

		平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	医療器械	24	40	57	40	142.5%	20
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					-	-	-
②					-	-	-
③					-	-	-

2. 数値で表せない効果  
 （指標 ）耐用年数の経過した医療機器については、点検整備を行い、故障等の発生した機器について更新を行うことにより医療の充実を図る。26年度は、県の地域医療再生事業補助金を活用し、MRIをはじめ、脳神経外科機器、がん診療機器の整備を行った。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	3	3	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	院内の多職種で組織する医療器械購入検討委員会において、耐用年数や必要度、緊急性などの検討を行い、優先順位を定める中で、補助金など有利な財源を最大限活用しながら、計画的な整備を進めていく。 また、県の地域医療再生事業補助金を活用し、高度医療器械等の整備ができたことから、今後の整備は必要最低限の整備としていく				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	医事 課	外来	係	事務事業No.	801115
事務事業名	受付・会計・レセプト・日直事務事業			会計	病院事業会計	
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項	目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進					
後期計画掲載頁		頁	個別計画			頁
事業期間	平成 13 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等		

**事業の概要**  
 病院事業においては、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保が事業の存続における最重要課題となっている。奨学金の貸与などにより、新卒者がある程度確保できる見通しはあるが、さらに定着を図るには、大町市内で生活するように誘導していくことが重要であり、近い年代の同僚が住む集合住宅を建築することにより大きな効果が見込まれる。

**事業の目的**  
 医事課業務は、病院経営において、収益の確保を図る重要な業務であり、診療報酬請求業務や外来受付業務は、専門的な知識が要求されるため、専門業者への委託により、業務の質の向上と効率化を図る。  
 平成26年度新設の歯科の診療報酬請求を確実かつ適正に行うため、診療報酬明細書の点検を専門的知識と経験を有する業者に委託する。

**事業内容**  
 ・外来受付、会計入力、外来診療報酬請求、時間外及び日直事務業務  
 ・歯科診療報酬明細書点検業務（H27.2月からH27.7月まで）

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	42,777 千円	43,121 千円	43,443 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	42,777 千円	43,121 千円	43,443 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	二チイ職員	人	14	14.5	14.5	14	103.6%	12
②	1日平均外来患者数	人	394	385	406	420	96.7%	420
③	歯科年間レセプト件数				1,899	—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	外来査定率	%	0.08	0.08	0.07	1.07	6.5%	0.07
	②	外来返戻率	%	2.15	2.04	2.13	2.00	106.5%	2
	③	歯科患者単価	円			4,209	—	—	4,300
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通
点数	3	2	3	3	2	2
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 15 / 18	レセプトの精度を高める研修会などを積極的に実施することで、単価を引き上げるとともに、業務の見直しを行い効率化を図る。また、接遇研修を定期的に関催し、患者サービスの向上に努める。収益の要である医事課を強化するためにも、職員のプロパー化を図り、委託業者の指導監督を行う必要がある。 委託業務内容の見直しを行い、紙カルテ管理等一部を縮小し、経費の節減を図るため検討中である。				

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	経営企画室 課	経営企画係	係	事務事業No.	801116
事務事業名	医師・看護師・薬剤師確保対策事業			会計	病院事業会計	
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項	目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進					
後期計画掲載頁		頁	個別計画			頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等		

**事業の概要**  
 病院事業においては、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保が事業の存続における最重要課題となっている。奨学金の貸与などにより、新卒者をある程度確保できる見通しはあるが、さらに定着を図るには、大町市内で生活するように誘導していくことが重要であり、近い年代の同僚が住む集合住宅を建築することにより大きな効果が見込まれる。

**事業の目的**  
 医師をはじめとした医療スタッフの充実、安定した収益を確保していく上で不可欠であるため、不足している医師、看護師、薬剤師等の増員を計画的に進めていく。

**事業内容**  
 信州大学医学部への訪問依頼及び職員募集広告の掲載（医師、看護師、薬剤師）、看護師就職説明会への参加、薬科大学への訪問及び説明会への参加、職員募集用パンフレットの作成、人材紹介会社との連携強化

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	17,866 千円	15,359 千円	16,614 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	4,243 千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	17,866 千円	11,116 千円	16,614 千円

活動指標	指標名	単位	平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	医師募集広告	社	3	4	4	4	100.0%	5
②	看護師、薬剤師募集広告	社	3	4	4	4	100.0%	5
③	薬科大学訪問	校			7	3	233.3%	7

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	医師数	人	17	17	19	23	82.6%	23
	②	看護師数	人	154	155	161	163	98.8%	163
	③	薬剤師数	人	6	6	6	7	85.7%	7
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	拡大	26年度は整形外科、脳神経外科、健診リハビリテーション、歯科口腔外科の常勤医師が招聘できたが、外科、整形外科、産婦人科医師が退任した。今後、医師の定着化を図る必要があり、職員の意見を集約する中で、働きやすい職場環境の整備を行う必要がある。また、信州大学への要請や積極的な募集活動を行い、不足する医師等の招聘に努めていく。看護師については、一定の増員が図られてきているが、薬剤師については、依然として厳しい状況にあるため、安定的な確保に向けて薬科大学の訪問や奨学金制度の活用にも努める必要がある。				
	評価点合計	18	/ 18				

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	経営企画室 課	経営企画係	係	事務事業No.	801117
事務事業名	総合診療医育成事業			会計	病院事業会計	
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	項	目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進					
後期計画掲載頁		頁	個別計画			頁
事業期間	平成 25 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等		

**事業の概要**  
 病院事業においては、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保が事業の存続における最重要課題となっている。奨学金の貸与などにより、新卒者をある程度確保できる見通しはあるが、さらに定着を図るには、大町市内で生活するように誘導していくことが重要であり、近い年代の同僚が住む集合住宅を建築することにより大きな効果が見込まれる。

**事業の目的**  
 信州大学医学部附属病院総合診療科の研修病院から指導医及び研修医の派遣を受け、総合診療医の育成を行うとともに、総合診療を通じて地域医療の充実を図る

**事業内容**  
 信州大学医学部附属病院総合診療科から、指導医及び研修医の派遣を受け、主に内科患者の入院、外来診療を行うとともに日当直等の救急医療を行う。また、研修医育成のため、カンファレンス、レクチャー等も随時行う。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	8,486 千円	20,725 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	4,242 千円	10,362 千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	4,244 千円	10,363 千円

指標名		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （%）	次年度（H27） 目標値
①	後期研修医（信大）	人			0.7	1	70.0%	1
②	初期研修医（信大）	人			0.5	1	50.0%	1.6
③	後期・初期研修医（当院）	人			0.7	1	70.0%	2

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	指導医（信大）	人		1	1	100.0%	2.6
②	研修医（信大）	人			1.2	60.0%	2.3
③	研修医（当院）	人			0.7	70.0%	2
2. 数値で表せない効果 （指標）							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の 方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	拡大 評価点合計 18 / 18	総合診療医育成事業は、徐々に充実してきており、当院の内科診療の中核となっている。患者の高齢化に伴い複数の疾患を有する患者が増加している状況から、今後、総合診療科の定着化に向けた取り組みを進めるとともに、入院外来診療だけではなく、在宅診療を視野に入れた取り組みが必要である。また、医師確保において、臨床研修を充実していくことが有効であることから引き続き積極的に取り組んでいく。				

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	医事課	課	情報システム管理室	係	事務事業No.	801118
事務事業名	病院事業運営費情報システム事業					会計	病院事業会計
まちのテーマ	安心・安全なまち					款	項
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進						
後期計画掲載頁			頁	個別計画			
事業期間	平成	23	年	～	平成	27	年
根拠法令・要綱等							

**事業の概要**  
 病院事業においては、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保が事業の存続における最重要課題となっている。奨学金の貸与などにより、新卒者をある程度確保できる見通しはあるが、さらに定着を図るには、大町市内で生活するように誘導していくことが重要であり、近い年代の同僚が住む集合住宅を建築することにより大きな効果が見込まれる。

**事業の目的**  
 紙伝票による医師からの指示に事務作業が多くなり業務の流れが悪く、結果患者待ち時間が多くなっている。ペーパーレスな診療体制を築くことで業務の効率化やカルテ等保存スペースを縮減していく。  
 また、口頭指示による、医療事故防止を事前に防ぐ診療支援システムの導入、診療情報の一元管理・共有化、カルテの見読性の向上により患者サービス向上へ向けた取り組みを行う。

**事業内容**  
 医療保険制度の複雑化と患者の医療ニーズの多様化の中で、積極的なITの導入による、診療情報の一元管理・共有化、各部門での事務的作業の効率化・簡素化、カルテの見読性の確保等により患者サービス向上へ向けた取り組みが必要とされる。県が主体となって計画を進めている地域医療NET(信州メディカルネット)への参加することにより、地域の診療所や3次救急病院との迅速な連携と情報共有を図る。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費(決算額)	512,250 千円	56,118 千円	77,131 千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金	147,000 千円		
		起債			
		その他財源		3,000 千円	27,000 千円
		一般財源	365,250 千円	53,118 千円	50,131 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 電子カルテ化率	%	80	98	99	99	100.0%	99
② オーダ化率	%	98	99	99	99	100.0%	99
③ 未接続部門システム	件	13	3	3	3	100.0%	3

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 紙伝票(帳票類)のシステム化率	%	92	93	94	94	100.0%	95
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

**※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等**  
 電子カルテ事業として、構築フェーズから運用保守フェーズへと移行してきている。機器更新に伴う費用と平成30年度更新時の設置場所確保を課題とする。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	平成21年度に導入した機器(サーバ、クライアント、ネットワーク機器など)が6年を経過し、耐用年数が過ぎてます。耐用年数を超えての使用は、故障の多発や保守契約の継続ができないなど、安全性が担保できなくなり、業務に支障をきたす可能性があります。平成28年度と平成30年度には計画的に機器更新を実施する必要があります。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	大町総合病院 部	医事課	課	情報システム管理室	係	事務事業No.	801119
事務事業名	診療記録等管理委託事業及びカルテ保管庫確保対策事業				会計	病院事業会計	
まちのテーマ	安心・安全なまち				款	項	目
施策目標	安心・信頼される地域医療の推進						
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成	23	年	～	平成	27	年
根拠法令・要綱等							

**事業の概要**  
 病院事業においては、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの医療スタッフの確保が事業の存続における最重要課題となっている。奨学金の貸与などにより、新卒者をある程度確保できる見通しはあるが、さらに定着を図るには、大町市内で生活するように誘導していくことが重要であり、近い年代の同僚が住む集合住宅を建築することにより大きな効果が見込まれる。

- 事業の目的**
- ・カルテ等の20年保存への対応
  - ・医師、看護師等の業務支援
  - ・患者満足度の向上

**事業内容**  
 諏訪倉庫株式会社塩尻支店へ下記の業務を委託している。  
 ・カルテ等（入院カルテ約58,000冊、外来カルテ約56,000冊のほか、検査記録、画像、処方せん等）の保管  
 ・診療録等の運搬、搬送

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	771 千円	2,109 千円	2,616 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	771 千円	2,109 千円	2,616 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 入院診療録保管	冊	26,000	26,000	57,900	58,000	99.8%	58,000
② 外来診療録保管	冊	50,000	50,000	56,200	56,000	100.4%	56,000
③ 搬送業務	回	12	32	54	60	90.0%	90

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					-	-	-
②					-	-	-
③					-	-	-

2. 数値で表せない効果  
 （指標 ）成果指標は活動指標と同じ。当事業によりカルテ等を廃棄することなく、また良好な状態で保管業務を行うことができた。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	2	2	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	事業完了終了	・被災者収容施設（仮称）内へのカルテ保管場所の確保については、平成27年7月以降を予定している。 ・院内において保管庫確保の目途が立ったことから、外部保管業者への委託は廃止可能となる。医療の質を担保するとともに、診療記録等の電子化と合わせて効率的な運用を図る必要がある。 ・保存年限20年を超えた紙カルテ等について計画的に廃棄処分を行う。				
	評価点合計	15	18				